



ひと

# 今月は、相撲道場を開いて阿蘇に相撲を絶やさぬよう頑張る岩下勇人さんをご紹介します。

## 相撲との出会い

專業農家で毎日農作業につとめる岩下さんが子ども相撲に携わるようになったのは14年前。相撲愛好会により相撲の復興が持ち上がり、各小学校で相撲の練習が始まる中、内牧小学校にも相撲道場が完成。保護者の依頼で、岩下さんは指導に当たり始めました。岩下さんは、高校まで柔道をしていましたが、その後、奉納相撲出場をきっかけに、相撲を始め、昭和50年には全国青年相撲大会、個人戦中量級で優勝、県民体育大会にも20回出場しています。

はやと  
**岩下勇人さん**  
55歳、折戸



▲指導中の岩下監督

岩下さんの子どもさんは女の子ばかり。子どもにも本格的に指導するのは始めてとあつて苦労した面もありましたが、平成5年の練習開始から毎日のように小学校に通われました。その結果が平成9年に実り、当時の6年生が熊日学童五輪で優勝。岩下さんはその時のうれしさは今でも忘れないといわれます。

## 「岩下相撲道場」が開かれ今年で10年。

平成10年3月。大会で優勝した6年生が中学でも相撲を続けたいけど練習場がないこと、天候に左右されない室内練習場があるとの理由で、岩下さんと保護者が力を出し合い、岩下さんの自宅敷地内に相撲道場が完成しました。その後、これまでとかわらぬ無償で、子どもたちの育成に情熱を注がれ、これまでに約100人がこの道場で、汗



と涙と土にまみれながら、強くなつて巣立っていきました。道場の卒業生たちは現在も、プロ（兜岩、3段目）や大学、高校の各方面で活躍し、後輩たちの大きな励みになっています。

また、女子相撲でも連続して日本一をとるなど、県内初となった中学校での女子相撲部（阿蘇北中）設立にも対応され、現在、男女の相撲部員を育てています。

今や「阿蘇」と大きく書かれたまわし姿は、熊本県内はもちろんのこと九州大会、全国大会でもおなじみになり、阿蘇の相撲の伝統を守り続けています。

## やりがいは…やはり白星

「相撲だけに限ることではないが、子どものころ一生懸命何かに取り組むことは、とてもいいこと。ここでも、練習や体を鍛えると同時に礼儀や

上下関係、思いやりの心が自然に身についている。練習に励む子どもは非行に走らないと信じている」と岩下さん。試合に勝ったときの喜びは何ものにも変えられない、接戦で勝ち優勝した時など、全員で飛び上がり号泣すると、これまでの数々の試合が頭をよぎります。

岩下さんはとても優しい人柄で、指導でも相撲の楽しさを教え、子どもたちに信頼と親しみを得ています。

興味のある方は、ぜひ道場に遊びに来てください。場所は三久保折戸橋そばです。

TEL 090・8665・7296



▶道場の皆さん。この道場の活躍を聞き、寺尾、肥後の海、黒海、普天王、霧の若など有名力士も訪れています。